

アークフラッシュされた全国48箇所の老人施設は9年間インフルエンザの発症が報告されておられません。

< * > <http://www.arc-flash.co.jp> アークフラッシュ NEWS をダウンロードによりご覧頂けます

高雄県大寮郷で Dengue 熱域内感染が確認された。同県での域内感染は今年初めて。県衛生局によると、感染したのは 55 歳の男性。屏東県でパイナップルを植えた 21 日以降、下痢や発熱、足の発疹(ほっしん)などの症状が見られ、28 日に感染が確認された。衛生局は 29 日に男性の住居などを消毒。家族や近隣の者に症状は見られず、30 日までに感染していないことが確認されている。高雄県では今年に入ってほかに Dengue 熱の海外からの感染 3 例が確認されている。衛生局は Dengue 熱を媒介する蚊の発生源となる水たまりを作らないよう呼びかけている。

台湾嘉義県新港郷の養豚場で豚擬似口蹄疫が発見され、県家畜疾病防治所は 241 頭を殺処分するとともに、他の 600 頭余りにワクチンを接種、半径 3 キロメートル以内の豚舎を消毒した。30 日現在、感染拡大は見られないという。当局は 27 日の市場検査で感染の疑いのあるブタ 2 頭を発見。市政府に対して直ちに殺処分するよう通知、ブタを出荷していた新港郷の養豚場を突き止め、28 日に 241 頭を殺処分した。台湾では 1997 年に大規模な豚口蹄疫が発生。以降は新たな感染がなく、来年には国際獣疫事務局(OIE)に対して非発生地区として申請する計画だったが、今年 2 月に雲林県と彰化県で発生が確認されていた。

2009 年 3 月 28 日、中国新聞社によると、広東省での手足口病の流行状況に関して、省衛生庁が 26 日までの統計を発表した。感染は 3245 例で、幼稚園での感染報告が多くを占める。重症は 3 例で、他はいずれも軽症だという。広東省では今年に入ってから、東莞市や河源市、深セン市、広州市などで手足口病感染の報告が相次いでいる。専門家によれば、病例の大多数は軽症で、多くは 1 週間以内に自然治癒している。しかし一部の患者は心筋炎や肺水腫、脳膜炎を併発するケースも出ており、5 月から 7 月にかけて感染がさらに拡大する恐れがあるとして、注意が喚起されている。

1 日付中国によると、中国で「スーパー病原菌」が急増している。一般庶民が抗生物質を「万能薬」と考えて多用したことが大きな原因で、病院内でも耐性を持つ菌が多く確認されているという。病院で黄色ブドウ球菌を調査したところ、60%以上が抗生物質に強い耐性を持つことが判明。抗生物質の多用により、**中国国民は「命の代価」を支払わねばならないことになったという**。一方、歯科分野では「四环素牙」と呼ばれる歯の異常着色や発育不全が急増。「四环素」は抗生物質のテトラサイクリンの中国語名で、1960 年

から 80 年まで、同抗生物質などを含む市販薬が「万能薬」として使われた結果という。抗生物質は、細菌など微生物の増殖を抑制する働きがある。感染症などの治療に使用する際には、対象とする病原菌により抗生物質を使い分けたり、副作用に対する配慮も必要になる。医療関係者にとっては常識だが、一般庶民は知識が乏しく、「抗生物質神話」が是正されることもなく、多用されつづけてきた。抗生物質はウイルス感染症には効果がないが、2003 年の新型肺炎(SARS、サーズ)、04 年の鳥インフルエンザ流行時など、ウイルスに起因する伝染病が流行した際に、庶民が争って抗生物質を買い求め、売り上げがほぼ倍増する現象も発生した。中国では 2004 年 7 月 1 日から抗生物質の購入には医師の処方せんが必要になった。抗生物質そのものは、簡単に購入できなくなったが、抗生物質を成分として含む胃腸薬や風邪薬は、現在でも市販されているという。専門家などは 90 年代から、抗生物質が野放し状態になっていることを問題視する声をあげていた。そのため、抗生物質の弊害が注目されるにつれ、「政府の対策が遅れた。しかも不徹底だ」と批判する声も出ている。また、収入に比べて医療費が高すぎることも、「病院にはなるべく行かず、市販薬でなんとかしよう」との風潮を強めているとの指摘がある。農村部で、経済成長が本格化した後も長年にわたり医療保険システムを構築してこなかったことが、抗生物質の過剰使用をももたらしたとの批判もある。

マレーシア保健省は今年、「戦略予防・デング熱抑制計画(2009～13 年)」に基づき、1 万人のデング熱感染者削減を目指す。国営ベルナマ通信によると、アブドル・ラティフ副保健相は、「計画は全国的に行う」とし、年間 10% ずつ感染者を減らす目標を明らかにした。今年、3 月 21 日までに前年同期比 49% 増の 1 万 2,933 人の感染が確認され、うち 35 人が死亡した。前年の感染者は 8,666 人、死亡は 16 人だった。同相は「クアラルンプールとスランゴール州のクランバレーが 62% を占めた」と説明した。3 月 21 までのチクングンヤ熱感染者数は 1,071 人で、死亡例はないという。

「ハリセンボン」はるかさん、肺結核に

テレビなどで活躍する人気お笑いコンビ、ハリセンボンの箕輪はるかさんが肺結核にかかったまま芸能活動をしていたことがわかりました。東京都は、接触したファンや関係者に感染した恐れもあるとして、一斉調査に乗り出しました。ハリセンボンが所属する吉本興業によりますと、箕輪はるかさん(29)は、先週金曜日に都内の病院で診察を受けたところ、肺結核にかかっていることがわかり、現在、入院しています。肺結核は空気感染する可能性もあり、発病すると、セキや痰、微熱などの症状が 2 週間以上続くことがあります。箕輪さんは去年 12 月ごろからセキなどの症状が出ていたということですが、吉本興業の劇場やライブ会場、テレビ番組の収録などの活動を続けていました。このため東京都は、去年の 12 月以降、箕輪さん本人と接触したファンや関係者に感染した恐れがあるとして、一斉調査に乗り出しました。東京都は電話相談の窓口を設置し、健康状態に不安のある人は、この窓口や最寄りの保健所に相談するよう呼びかけています

だから劇場などの不特定多数が集まる場所にはアークフラッシュが必要でしょう！！

エジプトで6歳の男児が強毒性の「H5N1型」鳥インフルエンザウイルスに感染していたことが分かった。同国では今月に入って6人目の感染者。中東通信(MENA)が5日伝えた。報道によると、感染した男児はエジプト北部のカリュビーヤ出身。エジプトの鳥インフルエンザ感染者はこれで63人目となり、アジア以外の国で最も感染者が多い。MENAが報じた保健省のスポークスマンの発表によれば、男児は2週間前から鳥インフルエンザの症状を示し、その1週間後に入院。タミフルの投与を受けているが、現在は危険な状態にあり、人口呼吸器を利用しているという。

大阪府高槻市の「愛仁会高槻病院」と同市保健所は3日、同病院の産科病棟に勤務する20代の女性助産師が肺結核を発症したと発表した。昨年12月23日～今年3月23日に同病棟で生まれた14都府県在住の新生児・乳幼児計352人がこの助産師と接触した可能性がある。ツベルクリン反応とレントゲン検査を実施し、感染の有無を調べている。職員は、79人のうち8人がツベルクリン反応で陽性を示したが、感染の可能性は低いという。同病院によると、助産師は昨年9月、系列の「総合健康センター」で健康診断を受け、肺に陰影が見つかったが、問題なしと判断された。その後、一時は高熱とせきが出たが、薬で回復し通常通り勤務。3月23日に再び発熱し、肺結核検査で発症が判明した。市保健所によると、菌量が少なく感染力は弱い。感染した可能性のある新生児・乳幼児は、都府県別で、大阪296人▽兵庫15人▽京都14人▽東京、神奈川各4人▽奈良、岡山、愛知各3人▽和歌山、千葉、埼玉、福岡各2人▽福井、香川各1人。3日現在、検査を終えた11人は感染していないという

部屋に置くだけ！！

アークフラッシュ本部では可視光型光触媒でコーティングしたガラスB玉を作りました。部屋の風が通る所に置くだけで、脱臭、殺菌をおこないます。

希望者には、有償でお分けいたします。200個単位で1個30円 送料別です。

コーティングは均一ではないのでヒビワレが生じる事がありますが、効果に支障はありません。水槽の中に入れて、魚病対策にも使用できます。

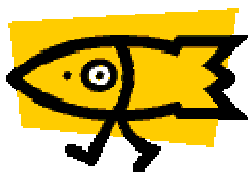
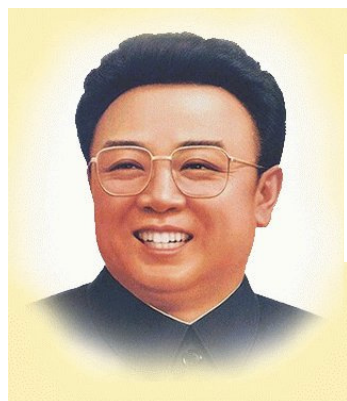


北朝鮮が打ち上げに成功したと述べた人工衛星について、ロシア軍参謀本部幹部が「われわれの宇宙空間を監視するシステムには、北朝鮮の人工衛星が軌道上に打ち上げられたことは記録されていない。そのようなものは宇宙空間には存在しない」と語った在日朝鮮総連も商業用衛星を受注し、打ち上げたという声明を発表しましたが、本当にキチガイに刃物とは良く言ったものですね！！偽札、覚醒剤、ミサイル事業が国家の産業ですから、これからも何をするかわかりません。

中国は朝鮮は自分にはミサイルを打ってこないと思って応援しているのか……キチガイはいざとなれば友人も親戚も関係なくなるからキチガイなのに

今度は北京に向け

て打ってみるか！！ と



??? (笑い)

*** 発行責任者:株式会社アークフラッシュ本部**
笹川 透

03-5337-8860 FAX 5337-7465 sasagawa@arc-flash.co.jp

過去のアークフラッシュ NEWS はホームページよりご覧になれます。